



2020年7月3日

各位

会社名 AHCグループ株式会社
 代表者名 代表取締役 荒木 喜貴
 (コード番号: 7083 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 経営管理部長 武藤 輝一
 (TEL 03-6240-9550)

第2四半期連結累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年7月3日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2020年2月25日に公表しました2020年11月期第2四半期連結累計期間(2019年12月1日～2020年5月31日)及び2020年11月期通期の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2020年11月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年12月1日～2020年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,240	百万円 102	百万円 111	百万円 73	円 銭 37.81
今回修正予想(B)	1,992	17	56	37	20.01
増減額(B-A)	△247	△84	△55	△36	
増減率(%)	△11.0%	△82.9%	△49.4%	△49.4%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年11月第2四半期)	—	—	—	—	—

(注) 当社は前期第2四半期連結累計期間について、四半期連結財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

(2) 2020年11月期通期連結業績予想数値の修正(2019年12月1日～2020年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,645	百万円 302	百万円 308	百万円 206	円 銭 105.69
今回修正予想(B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年11月期)	4,120	243	255	178	111.68

(注) 当社は、2019年8月1日付で、普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。2019年11月期1株あたり当期純利益は期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算出しております。

2. 個別業績予想の修正

(1) 2020年11月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2019年12月1日～2020年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,228	百万円 30	百万円 41	百万円 27	円 銭 14.27
今回修正予想(B)	1,043	△34	△10	△6	△3.64
増減額(B-A)	△185	△64	△52	△34	
増減率(%)	△15.1%	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年11月第2四半期)	-	-	-	-	-

(注) 当社は前期第2四半期について、四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

(2) 2020年11月期通期個別業績予想数値の修正(2019年12月1日～2020年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,565	百万円 109	百万円 119	百万円 81	円 銭 41.86
今回修正予想(B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額(B-A)	-	-	-	-	-
増減率(%)	-	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2019年11月期)	2,187	113	129	87	54.53

(注) 当社は、2019年8月1日付で、普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。2019年11月期1株あたり当期純利益は期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算出しております。

3. 修正の理由

(1) 2020年11月期第2四半期(累計)連結業績予想

福祉・介護事業につきましては、行政からの要請も踏まえ、新型コロナウイルス感染予防・拡大防止対策を徹底しつつ営業を継続いたしました。ご利用者の施設利用が当初計画に対し5%程度減少し、売上高は前回発表予想に対し3%程度下回る見込みとなりました。

外食事業につきましては、休業や営業時間の短縮等を含む営業自粛が6月中旬まで延長されたことにより、来店客数が当初計画に対し40%程度減少し、売上高は前回発表予想に対し35%程度下回る見込みとなりました。

利益面につきましても、福祉・介護事業はご利用者の利用キャンセルにより食材費や送迎費をはじめとする営業費用が当初計画に対し3%程度、外食事業は休業や営業時間の短縮により広告宣伝費や水道光熱費をはじめとする営業費用が当初計画に対し25%程度抑えられたものの、売上高減少の影響を受け、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も前回発表予想を下回る見込みとなりました。

(2) 2020年11月期通期連結業績予想

新型コロナウイルス感染症の終息を2020年5月と想定しておりましたが、現在も終息の目途が立っておりません。第3四半期以降も福祉・介護事業につきましては、引き続き感染予防・拡大防止対策を徹底し、通常営業を継続しております。学校の再開や外出自粛要請が解除され、ご利用者の施設利用が回復基調にあるものの、第2波による影響については依然として不透明であり、業績の予想が困難な状況となっております。

外食事業につきましては、営業を再開しましたが6月の来店客数が当初計画に対し50%程度であり、回復には相応の時間を要するものと思われまます。当該事業の売上・利益構成は比較的低いものの、第2波の

影響についても同様に不透明であることから、業績の予想が困難な状況となっております。したがって、現時点では業績の予想について不確定な要素が多く、適正かつ合理的な算定が困難なため、前回発表予想を一旦取り下げ、「未定」とさせていただきます。今後、新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、合理的な算定が可能となり次第速やかに開示いたします。

(3) 2020年11月期第2四半期(累計)及び2020年11月期通期個別業績予想

2020年11月期第2四半期(累計)及び2020年11月期通期個別業績予想につきましても、連結業績予想の福祉事業、外食事業の修正理由と同様の要因であります。

(注) 上記の連結業績予想は現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる可能性があります。